



令和3年度 四日市市立

3月22日発行 No.3

教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課
〒510-0085 四日市市諏訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)
TEL 354-8283 (代) FAX 359-0280
ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>



教育支援課マスコットキャラクター
しえん君



教育支援課 研修・研究グループ



タブレット活用指導力向上出前講座

「クラウドの概要を知る」「Google Classroom の活用方法を学ぶ」を目標とした出前講座を市内小中学校で実施しました。前半は、個人アカウントの作成作業から始まり、児童生徒側からクラスルームを体験する研修をしました。後半では、受講者の先生方が運営側になりクラスルームを開設し、その中で課題やアンケートを作成・配布する方法等を紹介しました。

児童生徒に1人1台端末が整備された今、授業の中での個別最適な学び、協働的な学びの促進に加え、学校と家庭の垣根を越えたよりシームレスな学びが実現できます。「いつでも」「どこでも」「どの端末でも」情報にアクセスできるクラウド活用はこれからの子どもたちの学びに必要不可欠です。今後も効果的な出前研修や情報提供を行っていきます。



4月から市内全小中学校に学習アプリ「ドリルパーク」を導入します。習熟度に応じた個別最適な学びの実現と知識・理解の確かな定着を支援するためにご活用ください。

教育支援課 特別支援教育・相談グループ



検査結果を個別の教育支援計画に反映させましょう

WISC-IV等の検査を受ける子どもが増えています。検査の実施は、知能指数や発達指数を知ることよりも、子どもへの理解を深め、具体的な支援を充実させることに意義があります。教育支援課で発達検査を受けると、必ず保護者・本人（小学校高学年以上に声をかけます。）にもフィードバックをします。自分の得意なこと・苦手なことが分かるので、自己理解の手がかりとなる場合があります。フィードバックでは、数値の報告だけでなく、支援方法の提案もしています。検査結果をもとに校内特別支援委員会で支援方法を検討し、個別の教育支援計画に記載しましょう。

なお、特別支援学級（あるいは通常学級）への転籍、特別支援学校への転学にかかる教育支援委員会の審議を行う際には、知能検査・発達検査のデータが必要です。教育支援課の検査は、年間の実施枠が限られているため、希望する時期に予約が取れないことがあります。スクールカウンセラーによる検査が可能な場合は、そちらも含めて計画的に実施してください。

研究報告

令和3年度、教育支援課で取り組んできた研究を報告します。それぞれの研究にあたり、御協力いただきました学校及び関係教職員の皆様、関係機関に心よりお礼申し上げます。この研究の成果が、今後の実践に広く活用されることを願います。

第413集

研修・研究グループ 研修員 東出 剛佳

生徒会活動が活性化するクラウド活用に関する研究 — Google Workspace for Education を通して —

中学校の生徒会活動において、クラウドを導入することが活動の活性化につながるかを検討しました。

本研究では、「活性化」を「生徒の学校への帰属意識や他者との関係性といった学校適応感が向上すること」と定義し、生徒会活動にクラウドを導入する中学校と、導入しない中学校とで比較検証を行いました。「学校生活享受感測定尺度」と「学校への心理的適応」を測る調査を用いて、生徒会活動が活性化したか分析しました。クラウド導入前後の結果を比較すると、クラウドを導入した中学校はすべての評定平均値が上昇し、クラウドを導入しない中学校を上回りました。「生徒会活動についての振り返り調査」で肯定的回答をした生徒の割合においても、クラウドを導入した中学校はクラウドを導入しない中学校よりも高い数値を示しました。また、生徒会活動にクラウドを導入することで、活動が効率化されるだけでなく、生徒たちの協働作業が促進され、新しい活動が生まれました。

これらの結果から、中学校の生徒会活動において、クラウドを導入することは活動の活性化につながると考えます。生徒会活動に限らず、これからの学校教育において、クラウド活用は必要不可欠になります。その上で重要なことは、日常的にクラウドが活用されることです。今後、教員・生徒は ICT に関する知識・技術に加え、情報活用能力の向上も求められます。



執筆者からの一言

クラウドは今後、生徒会活動に限らず、授業や部活動などあらゆる場面で有効に活用できると考えます。これからの教育活動におけるクラウド活用の可能性と活用方法について模索し、研究を進めるとともに、広めていきたいと思えます。



第414集

四日市市登校サポートセンター
指導員 堀 綾香 上原 啓江 前田 怜子 野中 純子

校内ふれあい教室での支援に関する研究 — ソーシャルスキル・トレーニングの実践 —

校内ふれあい教室（登校はできるが教室に入りづらい生徒対象の学校内の別室）を利用する生徒に対する支援にソーシャルスキル・トレーニング（SST）を取り入れることで、対人関係に必要なスキルが高まるかを検証しました。

本研究では、対人関係に必要なスキルを、「集団活動スキル」と「社会的スキル」と定義しました。校内ふれあい教室を利用する生徒に3回のSSTを実践し、生徒と不登校対応教員を対象に、SST実施前、実施直後、実施から2週間後の、計3回の自己評価と他者評価の調査を行いました。また、生徒へのSST後のふりかえりと、不登校対応教員へのアンケートを行い、調査結果とあわせて分析しました。自己評価調査では、集団活動スキル、社会的スキルともに大きな変化は見られませんでした。しかし、ふりかえりには、SSTを通して人とコミュニケーションをとるための方法を学んだことが読み取れる記述がありました。また、他者評価調査では、社会的スキルが向上し、アンケートで生徒の行動に好ましい変化があったという回答がありました。

この結果から、SSTを実施することで、対人関係に必要なスキルのうち、社会的スキルは高まると考えます。そして、SSTを行った後には、生徒自身が肯定的変化を実感するために、SSTによって獲得したスキルを発揮できる場の設定や生徒がスキルの高まりを実感できる日常的な声掛けが必要だと考えます。



執筆者からの一言

SSTを行い、適切なフィードバックや強化を重ねることで、対人関係に必要なスキルが好ましい方向に変化します。今後も登校サポートセンターで実践を重ねて、学校でも行えるよう、実践の紹介や共有を進めていきたいです。



各研究の詳しい内容は、教育支援課までお問い合わせください。
 また、四日市市立教育センター・視聴覚センターのホームページで閲覧・ダウンロードをしていただけます。（下記をご参照ください）



研究報告を活用しよう！

上述の「研究報告」の詳細は、四日市市立教育センター・視聴覚センターのホームページ（「文書等ダウンロード」のページ）でご覧いただけます。また、今夏の教職員研修講座で研究報告を行います。ご参照いただき、日々の実践にご活用願います！



● 研究調査報告

研究年度	研究番号	課題・内容
令和3年度	第414集	校内ふれあい教室での支援に関する研究
	第413集	生徒会活動が活性化するクラウド活用に関する研究
	概要版	令和3年度研究調査報告 第413集～第414集 概要
令和元年度	第412集	別室登校生徒支援の方向性を共有する校内体制についての研究
	第411集	算数科における児童の学習意欲を高める振り返りのあり方
	第410集	教科等での学びをより確実なものにするためのプログラミング教育に関する研究
概要版		令和元年度研究調査報告 第410集～第412集 概要
平成30年度	第409集	小学校における不登校の未然防止に関する一考察
	第408集	中学校数学科における問題解決能力向上のための授業づくりに関する研究
	第407集	自ら考え、議論する道徳の指導に関する研究
概要版		平成30年度研究調査報告 第407集～第409集 概要
平成29年度	第406集	不登校生徒への初期対応と校内体制についての研究
	第405集	中学校外国語科における「話すこと（やり取り）」の能力を高める研究
	第404集	小学校音楽科の表現領域「音楽づくり」が活性化させる指導に関する研究
概要版		平成29年度研究調査報告 第404集～第406集 概要
平成28年度	第403集	不登校を未然に防止するための校内支援の研究
	第402集	中学校数学科における数学的思考力を高める研究
	第401集	小学校体育科における「対話的な学び」が活性化させる指導に関する研究
概要版		平成28年度研究調査報告 第401集～第403集 概要
平成27年度	第400集	不登校児童生徒に再登校を促す支援方法についての一考察（2年次）
	第399集	中学校理科の学習におけるタブレットPCの活用に関する研究
	第398集	小学校理科における問題解決能力を育成する学習指導法の研究
概要版		平成27年度研究調査報告 第398集～第400集 概要

平成28年度以前の研究調査報告はアーカイブからご覧ください。

今年度の研究報告だけではなく、過去の研究報告も閲覧・ダウンロードできるよ！



令和4年度夏季教職員研修講座に注目！研究報告を行います！

日時・場所	研修講座内容
令和4年7月27日（水） 9:00～12:00 （総合会館8階 視聴覚室）	不登校対策研修会（担当者研修会）にて 研究発表 「校内ふれあい教室での支援に関する研究」 令和3年度 登校サポートセンター 指導員 堀 綾香
令和4年8月18日（木） 13:30～16:30 （総合会館8階 視聴覚室）	授業改善研修にて 講演「（仮）クラウド活用により実践される新しい学びに向けて —情報の共有から活動の共有へ—」 東京学芸大学 准教授 高橋 純 研究発表 「生徒会活動が活性化するクラウド活用に関する研究」 令和3年度 教育支援課 研修員 東出 剛佳